

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム カトリア

目標達成計画

作成日: 平成 25年 2月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	2	近隣の大学や小学校との交流を図り、地域の子供たちに福祉と触れ合う機会を作る役割を担うこと	大学との防災面や避難先受け入れとしての連携や中学生の職場体験の受け入れを行う。	中学生の職場体験は平成24年12月に操山中学校と行う。来年継続し行う。 消防訓練で山陽学園大学への避難を行う。 12ヶ月
2	26	タオル体操や食事前の嚙下体操などの体操を取り入れ、より一層身体機能を維持していくための取り組み	日中のアクティビティで体操を取り入れる。	毎朝、歌のアクティビティ後に椅子へ座ったまま行える体操を行い、身体能力の維持に努める。 1ヶ月
3	45	利用者の重度化が進んでくるとされる。適切な場所に手すりがある事で、利用者の残存機能を活かしたり、職員の負担の軽減に繋がるのでは。	浴室内へ手すりの設置	ご利用者様の声を聴き、適切な場所へ手すりを設置する。 2ヶ月
4				ヶ月
5				ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。